

相談支援のつながり創り企画について

（ 実施にあたり ）

自立支援協議会において実施した相談支援アンケートを集計した結果、現状、地域で障害に関連する困り事を経過的に見守る支援がなされていることが判明しました。

また、同時に、自治会や民政委員の認知度が高い反面、相談支援事業所の認知度が低いという課題も浮き彫りになりました。

その結果、地域の障害に関連する困り事をより迅速に、適切な支援機関につなげられる仕組み作りが必要であるとの結論に至りました。

（ 実施の目的 ）

地域において、障害が関係する困り事が出てきた場合、適切な支援機関へつなげる体制や連携を強化していくこと。

（ 実施の形式 ）

7月20日（金）の自治会長連絡協議会終了後、3グループに分かれ、懇談会形式で、情報交換を行う予定。

懇談時間は、60分を予定。

（ 懇談会テーマ ）

当事者やご家族を交えて、日頃の生活状況やこれまでの嬉しかったことや辛かったことなどの体験談に加え、障害特性に関しても伝えていく予定。